

(1) 前回(第1回)及び事例視察(北浦和ターミナルビル)について
市有地に導入したい機能・施設について

(2) 市有地の導入機能・施設について

(3) 民間活力について

市有地について

■交通アクセス

バス乗降場

- 敷地を有効利用できるような規模やレイアウトを考える。
- バスターミナルは路線バスを含めて考える。
- 市有地を市民広場にしたいので、市有地はバス乗降場とせず、市有地外でよいのではないか。
- 路線バスは駅前広場に入りきるのか。
- 送迎バスは受け入れない。
- 市有地利活用の前提として、県地方庁舎を含めて考えたい。公園、バスターミナルは市有地の方が適している。

その他

- 車で来た人のためのパークアンドライド
- オリンピックで霞が関カントリークラブへのアクセス機能(暫定的)

駐輪場

- 地下の駐輪場(街並みがきれいだから)
- 立体構造の駐輪場
- 通勤・通学・一般の人は有料、施設利用者は無料
- 駐輪場は近隣駐輪場に任せられるかどうか課題だろう。

■デッキ延伸

- 人の流れを引き込むため、デッキと駅からの見通しが必要ではないか。
- 市有地まで人の流れができるようにデッキを整備してはどうか。
- 大宮駅からソニックシティへのデッキが参考になるのではないか。

■子育て支援

- 保育園、一時預かり保育、育児相談などについて、公設民営を基本にしてみてもどうか。

■生涯教育

- 図書館(学習機能)
- 健全な若者のたまり場となるような場所
- 中小規模のイベントホール(100人前後の集客)

■商業・業務

- 商業施設(地元の企業の参画ができるような配慮が必要ではないか、専門店・日用品・業務サービス)
- 観光案内施設
- 川越のおみやげを売る場所
- ホテル(観光客が多いので宿泊施設が必要なのではないか)
- アウトレット
- カジノ

■公園、オープンスペース

- 公園をつくって子どもの健康づくり
- 避難所を兼ねて公園
- 憩い、広場などによる緑地機能
- 市民広場(スポーツ、遊び、集会、催し会場)ゲートボール場だったので戻してほしい。
- 南側の三角地にオープンスペース

■その他

- 西部地域振興ふれあい拠点施設の交流広場の運営は民間に任せてはどうか。
- 自然エネルギーの活用
- バリアフリー化
- 交番は駅前にあった方が良い。
- 前提として、市役所は移転しないのか、県地方庁舎にも移転しないのか。
- 市庁舎
- 中央市道廃止の検討

■健康増進

- 健康講座、指導、相談、運動、食育を行う場(保健センターまで遠い)

県地方庁舎(跡地)

- 高速バス、送迎バス、ツアーバス乗り場
- 公園
- 駐車場は近隣駐車場を利用してはどうか

提案された案に対して
出された意見

- 市有地利活用の基本的な考えとして、近隣住民を中心に考えるのか、川越市のシンボルとして利活用を図るか、整理が必要だろう。
- 市有地利活用を考える際、住民の視点も重要である。
- 川越駅西口はすごい、と評判になるようなものを整備してほしい。
- 容積率は、近隣住民の意見も聞いて決められたので、集客によるデメリットは、駅前の地権者に、ある程度理解されているのではないかとと思う。
- マンションが多く、住人も多いが、避難場所がない。
- 小学校2校に通学する児童は、両校合せて130名程度いるが、遊び場がない。
- 昔からの住民が少なくなって、意思疎通(コミュニケーション)の課題もあるが、それなりにうまくいっているように感じている。
- 市有地は駅に近く人が集まる位置にあるため、集客によるデメリットもあるだろう。しかし、市有地は人を集めることのできる位置にあり、利活用を考えていく必要がある。